



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル

コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 保木 潤一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 高橋 一夫

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 03-6229-1300

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,835	1.2	4,000	△6.8	3,979	△5.4	2,369	△5.9
23年3月期第2四半期	15,653	△1.2	4,294	6.9	4,208	6.3	2,517	5.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,305百万円 (5.6%) 23年3月期第2四半期 2,182百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	150.67	—
23年3月期第2四半期	160.04	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年3月期第2四半期	70,776		62,286		88.0	3,959.19
23年3月期	69,834		60,698		86.9	3,857.83

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 62,278百万円 23年3月期 60,684百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	25.00	25.00	25.00	25.00	100.00
24年3月期	20.00	20.00			
24年3月期(予想)			20.00	20.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	△2.0	6,900	△19.8	6,970	△18.6	4,200	△5.7	267.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	16,341,155 株	23年3月期	16,341,155 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	611,105 株	23年3月期	610,955 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	15,730,135 株	23年3月期2Q	15,730,795 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や米国、欧州の財政不安による世界的な景気の停滞、急激な円高進行等により先行きの不透明感が続いております。

当医療機器業界におきましては、国の厳しい財政状態もあり、今後の診療報酬がどのように推移して行くか不透明な状況にあり、引き続き各企業はより一層の経営の効率化及び合理化が求められる状況となっております。

このような環境の下、当企業集団では東日本大震災により損傷を受けました生産設備復旧と生産遅延の解消に全社で総力を上げ取り組んでまいりました。営業体制は震災対応を中心としつつ、「オペラマスター戦略」及び「サーレム戦略」の推進をしてまいりました。また、節電等の影響は当初想定していたより軽微な状況となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は15,835百万円（前年同期比1.2%増）となりました。このうち、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」を中心に、手術用品類の医療用キット製品の売上高は7,481百万円（同4.5%増）と伸ばいたしました。なお、「オペラマスター」につきましては、当第2四半期連結累計期間において8件の医療機関と契約を締結する一方、5件の解約があり累計契約件数は134件となりました。また、手術用品類の医療用不織布製品は、一時的な需要の増加とその後の反動があり、売上高5,367百万円（同2.5%減）となりました。

売上原価は、生産量増加による生産性の改善等がありましたものの、2011年5月より段階的に稼働いたしました滅菌センターの償却費が増加したことにより原価率は前年同期に比べ悪化いたしました。販売費及び一般管理費は生産遅延対応のための経費が発生いたしました。また、将来的に会社が成長するための費用として、オペラマスター手術管理システムの費用と、試験研究費の増加等があり前年より増加いたしました。その結果、連結営業利益は4,000百万円（同6.8%減）となりました。連結経常利益は3,979百万円（同5.4%減）、連結四半期純利益は2,369百万円（同5.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は70,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ942百万円増加いたしました。流動資産は35,249百万円となり、1,735百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加1,256百万円、棚卸資産の増加348百万円、受取手形及び売掛金の増加330百万円となります。固定資産は35,526百万円となり793百万円減少いたしました。うち有形固定資産は30,496百万円となり1,022百万円減少いたしました。機械装置及び運搬具7,085百万円のうち、筑波滅菌センター増築分の製造設備増設として3,613百万円増加しております。また、無形固定資産は1,095百万円となり206百万円増加し、投資その他の資産は3,935百万円となり大きな変動はありませんでした。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は8,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ646百万円減少いたしました。流動負債は7,447百万円となり874百万円減少いたしました。主な要因は、未払金の418百万円の減少、設備関係支払手形の299百万円の減少、災害損失引当金の188百万円の減少となります。固定負債は1,041百万円となり、227百万円増加いたしました。なお、有利子負債残高は前期末より500百万円減少し425百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は62,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,588百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益2,369百万円の計上による増加、剰余金の配当による707百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から88.0%となりました。

### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,255百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 3,977 百万円、減価償却費を 1,439 百万円計上いたしました。一方、法人税等の支払い 1,293 百万円、売上債権の増加 334 百万円等がありました。この結果、キャッシュ・フローは 3,751 百万円の収入となり、前年同期に比べ 600 百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に筑波滅菌センター増設関連の有形固定資産の取得等により 1,283 百万円の支出となり、前年同期に比べ 744 百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払い等がありました。この結果、1,207 百万円の支出となり、前年同期に比べ 47 百万円支出が減少いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、業績を反映し約 5,100 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、既存設備入替により約 2,000 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いや借入金の返済等により約 2,200 百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、東日本大震災の影響や、世界経済の不安定な状況により、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。当企業集団におきましても、節電等の影響は当初想定していたより軽微な状況となっておりますが、需要の動向は見通しにくい状況が続いております。そのような中で当社は、「医療の現場に貢献する製品」をコンセプトとした製品開発を進めるとともに、「オペラマスター戦略」及び「サーレム戦略」を果敢に推進してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	30,700 百万円	(前期比 2.0%減)
営 業 利 益	6,900 百万円	(前期比 19.8%減)
経 常 利 益	6,970 百万円	(前期比 18.6%減)
当 期 純 利 益	4,200 百万円	(前期比 5.7%減)

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,505	19,762
受取手形及び売掛金	9,091	9,422
商品及び製品	2,570	2,880
仕掛品	288	285
原材料及び貯蔵品	2,083	2,125
その他	977	778
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	33,513	35,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,302	12,918
機械装置及び運搬具（純額）	4,219	7,085
土地	9,375	9,373
建設仮勘定	4,283	776
その他（純額）	337	342
有形固定資産合計	31,518	30,496
無形固定資産	888	1,095
投資その他の資産	3,913	3,935
固定資産合計	36,320	35,526
資産合計	69,834	70,776
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,338	3,743
1年内返済予定の長期借入金	925	425
未払法人税等	1,576	1,615
引当金	1,188	1,032
その他	1,294	631
流動負債合計	8,322	7,447
固定負債		
引当金	44	98
その他	768	942
固定負債合計	813	1,041
負債合計	9,135	8,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	49,510	51,172
自己株式	△3,316	△3,317
株主資本合計	61,653	63,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	140
繰延ヘッジ損益	9	△177
為替換算調整勘定	△1,055	△999
その他の包括利益累計額合計	△968	△1,036
少数株主持分	13	8
純資産合計	60,698	62,286
負債純資産合計	69,834	70,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	15,653	15,835
売上原価	7,425	7,745
売上総利益	8,227	8,090
販売費及び一般管理費	3,932	4,089
営業利益	4,294	4,000
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	41	40
その他	27	34
営業外収益合計	70	76
営業外費用		
支払利息	12	4
為替差損	142	92
その他	1	0
営業外費用合計	156	97
経常利益	4,208	3,979
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11	—
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	3	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
ゴルフ会員権評価損	10	—
特別損失合計	46	2
税金等調整前四半期純利益	4,173	3,977
法人税等	1,655	1,607
少数株主損益調整前四半期純利益	2,518	2,370
少数株主利益	0	0
四半期純利益	2,517	2,369



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,518	2,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	61
繰延ヘッジ損益	△121	△186
為替換算調整勘定	△29	59
その他の包括利益合計	△335	△64
四半期包括利益	2,182	2,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,182	2,302
少数株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,173	3,977
減価償却費	1,120	1,439
ゴルフ会員権評価損	10	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△2
受取利息及び受取配当金	△43	△41
支払利息	12	4
為替差損益 (△は益)	151	94
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△508	△334
たな卸資産の増減額 (△は増加)	407	△357
仕入債務の増減額 (△は減少)	△252	390
その他	30	△161
小計	5,113	5,008
利息及び配当金の受取額	43	41
利息の支払額	△12	△5
法人税等の支払額	△1,992	△1,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,151	3,751
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,678	△1,048
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△75	—
関係会社株式の取得による支出	—	△8
貸付けによる支出	△4	△0
貸付金の回収による収入	14	4
その他	△286	△231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,028	△1,283
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△500	△500
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△753	△707
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,255	△1,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△158	1,255
現金及び現金同等物の期首残高	17,405	18,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,246	19,395

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。